

報告事項カ

鳥取の文化財「出前講座」の実施について

鳥取の文化財「出前講座」の実施について、別紙のとおり報告します。

平成26年5月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

鳥取の文化財「出前講座」の実施について

平成26年5月20日
文化財課

文化財課・県埋蔵文化財センター・むきばんだ史跡公園では、県内のさまざまな文化財に関する出前講演を実施しています。

地域に残る歴史を知る機会として、学校の授業やPTA等学校行事、公民館活動などで活用していただけるよう、取り組んでいます。

・地域の歴史が知りたい！

それぞれの地域には、今日に至るそれぞれの長い歴史があります。近所にある神社仏閣、路傍の石造物、裏山のちょっとした地形の変化、毎年行っている行事など、普段見慣れた風景のなかに、蓄積された歴史が隠れています。

そのような風景も、我々文化財のプロからみれば、その特徴は一目瞭然。実は見過ごしていた思わぬ歴史が浮き彫りになるかもしれません。地域に残る歴史を再確認し、地域活性化の一助とするお手伝いをいたします。

【実践例】

学校における歴史の授業、総合学習
公民館主催の地域歴史講座、文化財ウォーク

・興味のあるテーマについて知識を深めたい！

近年流行の城や仏像など、知りたいけれど、どんな本読んだらいいかわからない。気軽に知識を深めたいという方に最適。さまざまな「文化財のツボ」について解説いたします。

【テーマ例】

- ・甦る弥生の国邑・妻木晩田遺跡
- ・青谷上寺地遺跡を楽しむ
～多種多様な遺物がらみた弥生時代～
- ・たたら製鉄の源流を探る
- ・鳥取県のお城の魅力～県内に500箇所もある地域の宝～
- ・三徳山と大山～山の信仰の地域史～
- ・とつとりの鉄道遺産
- ・建築から見る生活のうつりかわり
- ・鳥取県の民俗芸能について

平成25年度 出前講座実績

No.	演題名	場所	主催等	月日	参加者数	備考
1	妻木晩田遺跡・青谷上寺地遺跡からみた鳥取県の弥生時代	琴浦町立古布庄小学校	琴浦町立古布庄小学校	4月30日	9名	
2	発掘調査から見る歴史	鳥取市立岩倉小学校	鳥取市立岩倉小学校	5月7日	60名	
3	青谷上寺地遺跡の魅力と整備活用について	鳥取市青谷総合支所	青谷上寺地遺跡を学ぶ会	5月18日	30名	平成25年度青谷上寺地遺跡を学ぶ会総会
4	鳥取県西部の古建築	軽費老人ホーム福原荘	軽費老人ホーム福原荘	5月23日	20名	福福大学
5	尾崎家住宅の文化財的価値	宇野地区公民館	湯梨浜町教育委員会	6月16日	150名	重文指定記念
6	山陰最古級の前方後円墳 ～本高14号墳の調査から～	面影地区公民館	面影地区公民館	6月10日	10名	
7	国府地域の歴史 ～いろいろな文化財をとおして～	国府地域交流会館	新宮下町内会	7月27日	50名	
8	原始古代の南部町 ～旧会見町域を中心とした遺産～	諸木地区公民館	諸木地区公民館	8月31日	25名	
9	赤松の荒神祭について	さざんか会館	鳥取民俗懇話会	9月1日	10名	鳥取民俗懇話会9月例会
10	鳥取東部の民俗芸能について	鳥取市文化センター	鳥取市教育委員会	9月11日	48名	鳥取市民大学郷土の歴史講座
11	地域の民俗芸能と祭り・行事	むきばんだ史跡公園	とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会	9月14日	24名	よどえの郷トークプレイス 淀江の文化遺産とその魅力
12	土地に根ざした民俗芸能 ～明治・神戸の獅子舞・踊り～	鳥取市青谷町総合支所	鳥取市経済観光部鳥取砂丘・ジオパーク推進課	9月22日	150名	「山陰海岸ジオパーク」鳥取市域エリア拡大フォーラム
13	尾崎家住宅の文化財的価値	尾崎家住宅	湯梨浜町教育委員会	10月14日	60名	重文指定記念
14	鳥取藩32万石 ～池田家が遺したもの～	関西本部	鳥取県関西本部	10月17、18日	100名	
15	鳥取の祭り・行事	鳥取大学	鳥取大学	10月21日	125名	鳥取学 ～とっとり再発見～
16	文化財建造物の修理	智頭町ふれあいホール	(財)因幡街道ふるさと振興財団	10月25日	100名	
17	重要文化財めぐり	門脇家、河本家	倉吉市教育委員会	11月2日	30名	倉吉市制60周年記念事業
18	文化財建造物案内	智頭宿、芦津、山形	鳥取県建築士会	11月9日	20名	兵庫県建築士会との交流会
19	文化財建造物案内	大山町坊領、所子	とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会	11月10日	15名	淀江まるごと道草日和関連行事
20	大茅地区の史跡	大茅地区公民館	大茅地区公民館	11月10日	30名	
21	鳥取県の石造物－五輪塔・宝篋印塔を中心に－	倉吉市成徳公民館	倉吉文化財保存協会	1月25日	40名	倉吉学講座



鳥取県の文化遺産情報を 文化財主事が講演します



学術講演会や研究会、市民セミナー、研修会など生涯学習行事の場等で幅広くご活用いただけます。会場をご準備いただければ、講演者が直接伺いますので、内容などを事前にご相談の上、お申し込みください。なお、出前講演者の謝金は不要ですが、旅費の負担については

■申込み・問い合わせ先

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目271

鳥取県教育委員会事務局文化課 文化財担当

電話：0857-26-7525、7937

ファクシミリ：0857-26-8128

ホームページ：<http://www.pref.tottori.lg.jp/bunkazai/>

番号	テーマ(演題)	概要	講師	時代等
1	とっとり文化財紀行	仏像、建造物、史跡、民俗芸能など、県内に残る文化財を紹介しながら、歴史遺産(文化財)からみた鳥取の歴史と文化を語ります。少しお時間をいただければ、旧市町村単位でのご依頼にもお応えできます。	中原	概説
2	県内出土の古代繊維について	青谷上寺地遺跡出土の繊維をはじめとした、県内出土古代繊維の概要について紹介します。	原田	
3	発掘調査からみた古代の鳥取について	鳥取県内の発掘調査の成果を中心に、古代の鳥取のようすについて身近な遺跡を中心に説明します。	八峰	
4	土器のはなし	鳥取県の事例を取り上げながら、時代ごとの土器の特徴や製作技法の移り変わりを体験活動なども取り入れて小学校高学年・中学生向けに解説します。	原田	
5	三徳山の埋蔵文化財	名勝及び史跡三徳山では近年発掘調査が行われ、これまで知られていなかったかつての姿が少しずつ明らかになりつつあります。これの成果を紹介し、三徳山の新たな魅力を紹介します。	瀧	
6	古代・中世の食事の話 ～グルメな古代・中世の人々～	広大な中世の畠跡が見つかった長瀬高浜遺跡など、食糧生産跡が見つかった鳥取県。それらの発掘調査成果をふまえ、意外にグルメな古代・中世の人々の食事について解説します。	中山	
7	鳥取県内の砂丘遺跡	鳥取県内で発見されている砂丘遺跡について、その概要を解説します。	久保	

8	地域に残る知られざる歴史	うちの近くには歴史的なものなど何にもないと思っておられる方が多いのでは？いえいえ、そんなことはありません。昔があってこそ今がある。地域に残るさまざまな歴史について紹介します。	中森	概説
9	お墓の話	古代から現代まで、人を葬る行為は繰り返し行われてきました。その繰り返しの中で、お墓の形やその上に立てるもの（石造物や卒塔婆）が変わり、地域的な特色も出てきます。地域的な姿から西日本のようすまで、さまざまなテーマについてお話しします。		
10	遺跡や古墳の今と昔	現在私たちが知っている遺跡や遺物は、考古学によって「発見」されたわけではなく、古代から近世までの人々によって様々に解釈され、時に活用されてきました。とくに古墳には神聖な場として、時に崇るものとして、様々な伝承が残っています。考古学とは直接重なりませんが、遺跡が「遺跡」と認識される前の姿から地域の歴史を考えてみませんか。	陶澤	
11	むきぼんだムラが復元されるまで	発掘調査や自然科学分析の成果から、どのようにムラの風景を復元していったのかお話しします。竪穴住居や高床倉庫を見学するときのチェックポイントをお伝えします。		
12	遺構の露出展示について	妻木晩田遺跡における遺構露出展示技法の研究成果を中心に、土質遺構の実物展示の方法と、現状での課題についてお話しします。	長尾	
13	発掘調査出土品が展示されるまで	発掘調査の出土品のうち、土器は破片で見つかることが多く、パズルのように組み立てて元の形に復元しています。また、金属や木の道具などはそのままでは錆びたり腐ってしまうため、傷みがひどくならないように科学的な保存処理を行う必要があります。博物館などで展示してみなさんにご覧いただくために、どのような処置をおこなっているのかを紹介します。		
14	石器の作り方	旧石器時代から弥生時代までの石器作りの変化を、鳥取県で確認されているものを中心に、実演しながら解説します。	高橋	旧石器
15	北からみた倭国の形成	東北地方南部の旧石器・縄文・弥生遺跡の発掘調査成果と環境変化を合わせてこの地に古墳が受容されるまでの話。特徴的な遺跡の調査例をスライドを混じえて説明します。 九州・近畿とは違う視点から古代日本建国以前の倭国を考えます。	福島	旧石器～古墳時代初頭まで
16	鳥取県内における縄文時代草創期資料（有茎尖頭器を中心に）	細石刃文化期（後期旧石器時代終末期）から石鏃の出現に至るまでに木葉形尖頭器、有茎尖頭器を主体とする石器群が顕著に認められる時期が存在します。これらの尖頭器を詳細に観察し、製作技術や石材の動き、狩猟法の検討をおこなうことによって、当時の人々の動向や、前後の時代との画期を見出すことができます。	河合	縄文
17	鳥取東部における農耕社会のはじまりについて	縄文時代晩期から弥生時代前期にかけての大きな変化については、鳥取県東部に関しては不明な点が多かったが、近年の発掘調査において良好な資料が発見され、明らかになりつつあります。こうした最新の資料を用いて当該地域のこの時代における展開について説明します。	下江	縄文・弥生
18	弥生時代の土器について	発掘調査の成果を元に、鳥取県で出土する弥生時代の土器の特徴についてお話しします。	瀧本	弥生
19	自然への備えと挑戦～青谷上寺地遺跡の土木技術と現在～	弥生時代、青谷上寺地遺跡は幾度ももの自然災害に襲われました。発掘調査で明らかとなった当時の土木技術を通して、自然に立ち向かった弥生人の「備えと挑戦」に学びます。	君嶋	

20	「破鏡」の話 ～鏡にこめられた 思い～	青谷上寺地遺跡や妻木晩田遺跡からは、青銅製の鏡の破片（破鏡）が見つかっています。破片となっても大切にされた鏡、そこにこめられた弥生人の思いについて他地域の事例も踏まえながら解説します。	君嶋	弥生
21	弥生農耕事始	日本列島で本格的な水田稲作が始まった弥生時代。当時の農耕はどのように行われたのでしょうか。青谷上寺地遺跡から見つかった多量の木製農具を中心に解説します。	君嶋	
22	青谷上寺地遺跡 の骨角器に ついて	動物の骨やシカの角を利用した道具類（骨角器）が青谷上寺地遺跡から2500点以上見つかっています。こうした骨角器の種類や製作技術の変遷など弥生時代から古墳時代はじめ頃にかけての特徴について、分かりやすく説明します。	河合	
23	青谷上寺地遺跡 の玉つくり について	青谷上寺地遺跡では、700点以上の玉・玉作関連資料が見つかっています。資料の再整理、調査研究の最新成果をもとに、玉つくりの特徴からみた日本海交流について解説します。	河合	
24	砂に埋もれた大 集落 ～長瀬高浜遺跡 の紹介～	弥生時代から中世までの幅広い時代の遺構が見ついている県中部の長瀬高浜遺跡について調査結果をもとにして紹介します。	中山	
25	弥生時代の家 について	弥生時代には様々な形の家がありましたが、終わり頃には隅の丸い四角い形に統一されていきます。こうした形の変化と建物の上屋構造の変化の関係について、焼けた竪穴住居を素材として紹介します。	馬路	
26	淀江潟と東郷湖 周辺の弥生時代 から古墳時代の 集落	鳥取県にはたくさんの潟湖が存在したことがわかっていますが、その中から淀江潟と東郷湖周辺の弥生時代から古墳時代の遺跡を取り上げて、集落の様子や社会のあり方について、両地域を比較しながら紹介します。	馬路	
27	妻木晩田遺跡の 墓と集落	妻木晩田遺跡は弥生時代のムラと墓の変遷を追うことができる数少ない遺跡です。弥生時代は身分の差が顕著となった時代といわれますが、妻木晩田遺跡あるいは山陰の遺跡ではこうした階層差をどのように捉えるか、を焦点に考察します。	岡野	
28	弥生の建物を復 元する！	弥生時代のムラにはどのような形の建物があり、どのように使われていたのでしょうか。最新の発掘調査成果を織り込みながら、物言わぬ遺跡からどのように情報を読み取り弥生の建物を復元するのかわ、妻木晩田遺跡での実例をもとにお話しします。	岡野	
29	甦る弥生の国邑 妻木晩田遺跡	国内最大級の弥生集落である妻木晩田遺跡でこれまでに行われた調査とその成果について、最新情報も交えてお話しします。合わせて整備が進む史跡公園の魅力や楽しみ方をご紹介します。	小口	
30	妻木晩田遺跡の 最新の調査成果 について	妻木晩田遺跡の墓域である仙谷地区の発掘調査について、弥生時代のお墓の特徴などの解説を交え、最新の調査研究成果をお話しします。	小口	
31	妻木晩田遺跡と 周辺の歴史的環 境	日本最大級の集落である妻木晩田遺跡は丘陵の上につくられ、300年以上に亘り継続していました。何故このような大きなムラが丘陵の上につくられたのでしょうか。その答えについて、淀江平野の歴史的環境や山陰の遺跡の立地という視点から考えてみたいと思います。	陶澤	
32	土器からみる山 陰と北陸	弥生時代後期の山陰と北陸は、土器の移動や四隅突出型墳丘墓の存在から、密接な交流が行われていたと考えられます。山陰と北陸という2つの地域の交流について、土器やお墓の形状を中心にさぐります。	陶澤	

33	妻木晩田遺跡 - 甕る弥生の国邑 -	全国屈指の大規模な弥生時代集落、妻木晩田遺跡の発見史。そして、発掘調査を通じてみえてきた居住域や墓域、魏志倭人伝に記された倭国の時代に、最盛期を迎えた集落像について論じます。	濱田	弥生
34	大山山麓の弥生時代	中国地方の最高峰、大山の山麓は、弥生時代遺跡が数多く発見されています。米子市目久美遺跡（前期）、大山町茶畑山道遺跡（中期）、妻木晩田遺跡（後期）など、山陰を代表する重要遺跡を実例として取り上げながら、大山山麓の弥生時代、そして、当時の人々の暮らし、社会を考えます。		
35	県内出土弥生時代の絵画資料について	県内出土の新資料を交えながら、弥生人の描いた絵画の特徴について紹介します。	長尾	
36	ふしぎな弥生土器から見える環日本海交流	弥生時代後期（約1,800年前）の限られた時期に「台付装飾壺」と呼ばれているふしぎなかたちや文様のある土器が、因幡地方を中心に西は香取島から東は富山県までの広い範囲で分布しています。 この土器を通して、弥生時代の人々の交流や土器にこめた願いを見つめてみたいと思います。	松井	
37	弥生時代のお墓とムラ	弥生時代の後期（約1,900年前から1,750年前）の鳥取県域のお墓とムラの有り様から、古墳時代前夜の階級社会への階段を登りつめつつあった弥生時代のようすを見つめます。		古墳
38	石馬物語	平成26年は「甲午（きのえうま）年」です。それにちなんで本州では唯一の存在であり、1500年前の九州と山陰の交流を物語る米子市淀江町の石馬（重要文化財）について、淀江の古墳文化とともに語ります。	中原	
39	鳥取県の前期古墳～山陰古墳時代の幕開け～	多様性に富んだ鳥取県の前期古墳について周辺地域とも比較しながら検討し、山陰地方の古墳出現の謎について解説します。	君嶋	
40	鳥取と九州・東国の装飾古墳	古墳時代の装飾古墳について、九州と東国のと比較しながら、鳥取県の装飾古墳を解説します。	福島	
41	古墳時代の炊飯具	古墳時代の炊飯具のひとつ、移動式かまどについて最近の鳥取県の発掘調査成果などを含め紹介します。	野口	
42	7世紀須恵器生産の変革	古墳時代後期に各地で開始された須恵器生産は、7世紀の中頃を前後する頃大きく変化します。そのなかで、中核地と同様な変化とともに、在地的特色を持った須恵器が各地で生み出されます。この状況の一端を鳥取県の出土資料を基に考えます。	福島	古墳終末期
43	白鳳の精華～上淀廃寺跡にみる古代寺院の実像	彩色仏教壁画の発見で話題となった上淀廃寺跡の発掘調査成果から明らかになった白鳳時代の地方寺院の姿を紹介し、古代山陰の先進性を探ります。	中原	飛鳥
44	青谷横木遺跡から出土した木簡等について	青谷横木遺跡から出土した木簡等から遺跡の性格等について解説します。	山柁	古代
45	会下・郡家遺跡の古代	平安時代の大きな建物跡や、限られた場所でしか出土しない緑釉陶器が見つかった会下・郡家遺跡のようすについて、分かりやすく解説します。	田中	

46	木簡が語る青谷横木遺跡	鳥取市青谷横木遺跡でみつかった木簡や、人形・馬形などの祭祀具を中心として紹介し、そこから読み取ることができる古代のようすを解説します。	加藤	古代
47	古代「山陰道」と条里地割	古代には「七道駅路」と呼ばれる高規格道路網や、その駅路を基準線として施工された土地区画（条里地割）が整備されます。青谷上寺地遺跡では七道駅路の1つである古代「山陰道」のほか、条里地割に関わる遺構がみつかっています。本講座では、青谷上寺地遺跡でみつかった古代の遺構について解説するとともに、古代の青谷平野の景観についても概観します。	森本	
48	古代の役所と寺院	近年行われた伯耆国会見郡衙の発掘調査成果を中心に鳥取県内の古代における役所や寺院について解説します。	坂本	
49	たたら製鉄の源流を探る	最新の調査成果をもとに鳥取県内の古代・中世における鉄生産について説明し、たたら製鉄の源流に迫ります。		
50	古代・鳥取の塩づくり	鳥取県内から出土した塩を作るための土器をもとに、海水から塩ができるまでの工程や、塩が運ばれた遺跡、その使われ方などについてみていきます。	八峠	
51	古代の折り	青谷横木遺跡から出土した木製祭祀具を中心に、青谷平野で出土している木製祭祀具を解説します。	岩垣	
52	因幡・伯耆における中世の屋敷と墓	鳥取県内で行われた発掘調査の成果から明らかになった、古代から中世にかけての集落や墓などの移り変わりのようすを紹介します。	八峠	
53	絵図と発掘調査から読み解く山名氏の布施天神山城	戦国時代末、山名氏の守護所である天神山遺跡について、絵図と発掘調査の成果から、ありし日の天神山周辺のようすを復元します。		
54	検地帳から中世の景観を復元する	日南町の笠木地区には江戸時代初めの検地帳が完全な形で伝えられています。その解読から復元できた中世笠木郷の景観と、現地に今も遺る面影を紹介します。	高橋	
55	地下式坑について	地下式坑の機能については、墓という説がありますが、墓ではないという説もあります。ここでは、鳥取県内で見つかった地下式坑を紹介し、墓ではないという説に立脚し、地下式坑の機能について考えてみます。	荒川	
56	三徳山と大山-山の信仰の地域史-（新編）	「三徳山」と「大山」は、鳥取県の中西部、伯耆の国の象徴として、多くの人に信仰された霊峰です。そして、山腹に建立された「三仏寺」と「大山寺」には優れた文化財が伝わり、山中には今も多くの遺跡が眠っています。この2つの寺院に伝わる文化財や、三仏寺と大山寺の勢力争いを素材としながら、2つの山をめぐる地域の歴史を紹介します。	瀧田	
57	山陰地方の石造物について	道や田畑の脇、墓地の一角などいたるところにある五輪塔や宝篋印塔。それらをよく見てみると、実は形や大きさ、使われている石などいろいろ違っていることがわかります。それはつくられた時期や地域による違いであり、山陰におけるそうした様相を紹介します。	中森	

58	中世陶磁器を考古学的にみてみると	とかく陶磁器というと、博物館に飾られている「美術品」、あるいは「骨董品」を想像される方が多いのではないのでしょうか？ところが発掘調査をしていると、そうしたお宝の割れた破片が結構出てくるのです。何故そのような陶磁器が出るのか？誰が使っていたもののかなどなど、その価値だけでなく、そこにある意味などを考古学的に鑑定します。	中森	中世
59	鳥取県のお城の魅力	地域のシンボルともいえるお城。その魅力に迫るとともに、天神山城・鳥取城・米子城など発掘調査された事例を中心に、城の構造や瓦・陶磁器といった出土遺物などについて紹介します。		
60	鳥取県の中世城館について	鳥取県内には約500城の中世城館や所在する。これら中世城館について特徴や傾向等を解説します。	大川	
61	鳥取池田家32万石 -揚羽蝶の時代-	江戸時代を通して因幡・伯耆を支配した鳥取藩（池田家）は、32万石という全国でも12番目に位置する大藩でした。鳥取藩の政治・経済・文化の実像を資料から探ります。	中原	江戸
62	とっどりの鉄道遺産 -若桜鉄道と法勝寺電車-	鉄道遺産は、近代化遺産あるいは産業遺産としての文化財的価値が認められています。現役の鉄道遺産として国登録有形文化財となっている若桜鉄道と、廃線となった鉄道遺産として車両等が県保護文化財に指定されている法勝寺電車を取り上げて、とっどりの鉄道遺産の魅力をさぐります。	中原	近現代
63	火の神様の話	人々は生命や財産を脅かす火事为了避免のため、火の用心をするとともに人知を超えた加護を願って火の神様への篤い信仰をしてきました。その中でも京都から広がった愛宕信仰について、鳥取県内の特色ある行事を紹介しながらお話しします。		
64	「滋賀県」の日野町における民俗行事	日本全国には同じ町名を持つ地域がありますが、滋賀県にも鳥取県と同じ名を持つ町「日野町」があります。同じ名を持つ滋賀県日野町でどのような民俗行事が行われているのか、映像を使って分かりやすく解説します。	原島	
65	鳥取の年中行事	毎年繰り返される年中行事、そこには五穀豊穡や厄災除去など、昔から大切な願いが込められてきました。今でも守り伝えられている国・県指定無形民俗文化財を中心に、特色ある鳥取の年中行事を紹介します。		
66	鳥取の民俗芸能	鳥取県内各地域に伝わる多彩な民俗芸能。民俗芸能という言葉には馴染みがなくても、お祭りや踊りの太鼓や笛・鉦の調べを聞くと、自然と心が浮き立つ人も多いでしょう。そんな魅力ある民俗芸能について、特色や見所を映像を交えて紹介します。		
67	建築から見る生活のうつりかわり	地域性や人々の生活を映し出す、住まい。そこには様々な社会的背景や生活のための工夫を見ることができます。住まいを通して、鳥取県内の江戸時代からの生活の変化を、他県の例も交えてお話しします。		
68	近代の文化遺産～近代化遺産と近代和風建築～	鳥取の近代化を支えた近代化遺産と、近代和風建築。二つの総合調査の結果をもとに、近代の社会的背景と歴史的建造物を、地域性と絡めてお話しします。	松本	
69	身近な文化財建造物を活用する	平成8年から国レベルで始まった、所有者主体で「活用しながら保存する」ための登録文化財制度。県内外の活用例と、登録制度の可能性について紹介します。		
70	歴史の道を歩こう	その昔、物の運搬や人々の往来に使われていた道を「歴史の道」と呼んでいます。 歴史の道は旧道として、今は通る人も少ないものの、山道や町の路地としてひっそりと歴史の面影を残しています。 沿道に残る文化財をたどりながら、地域の歴史に触れてみませんか？	大川	

71	池田家墓所の秘めたる魅力!	鳥取藩主池田家の墓所では燈籠会などのイベントを実施するとともに、墓所を整備する事業も行っていきます。池田家墓所の整備や調査のなかで分かったことを御紹介いたします。	大川	近現代
72	鳥取の名勝 散策 (新規)	鳥取の自然が生み出した景勝、そして先人たちが造形した美しい庭園。鳥取県にも素晴らしい名勝の地がたくさんあります。多くの方に一度は訪れていただきたい鳥取県の名勝と、その見所を紹介します。	濱田	
73	浦富海岸と海水浴 (新規)	浦富海岸は明美な景勝地として知られています。近年では世界ジオパークとしても注目を集めています。ところで、夏に海水浴客で賑わう浦富の浜が明治時代にかかれた山陰地方最古の海水浴場だということをご存じでしょうか。この講座では、浦富海岸の見所を紹介しつつ、景勝の地にかかれた海水浴場にまつわる浦富の歴史と、その意義を探ります。	松井	
74	台湾の植民地建築見て歩き	日清戦争(1,894-1,895)の結果、日本の植民地となった台湾。植民地化後、日本人建築家によって多くの近代洋風建築が建てられました。いまでも残り、しかも当時とほぼ同じ目的で使われているそうした建造物を台北を中心に紹介します。	松井	
75	鉄ちゃん文化財主事が語る文化財としての若桜鉄道の魅力	駅舎や橋梁など23ヶ所の施設が国の登録有形文化財に指定されている「若桜鉄道」。その文化財的価値の視点+鉄ちゃんの視点から、わかつての魅力を探してみます。	松井	
76	とっとり古代びと、千年の記憶～妻木晩田遺跡・向山古墳群・上淀麁寺～	霊峰大山の麓・淀江の地は、古代出雲世界の東の玄関口でした。ここには弥生時代の妻木晩田遺跡、古墳時代の向山古墳群・石馬、飛鳥時代の上淀麁寺といった、約千年間も繁栄した遺跡が数多く残されています。これらの遺跡の発掘調査成果を通して、この地に残された古代びとの記憶(歴史)をたどりま。	中原	地域
77	溪流の王者「オオサンショウウオ」について	溪流の中の百獣の王とよばれるオオサンショウウオ。山奥の池に人知れず生息していると思われがちですが、実は私たちの身近な河川で生活しています。謎の多いオオサンショウウオの知られざる実態や生活環境について紹介します。	中山	その他の文化財

[妻木晩田遺跡体験メニュー]

78	妻木晩田遺跡を生かした活用の方法	弥生時代の集落遺跡である妻木晩田遺跡をフィールドにした遺跡活用の実践例を紹介します。	塚田	体験講演
79	弥生の土器を復元する(新規)	弥生時代の土器を復元する体験型の出前講座。子どもから大人まで、幅広いニーズに合わせた土器づくり体験の出前です。		
80	実録！弥生の絹作り(新規)	養蚕の歴史から絹糸をとる体験、糸を紡ぐ体験、機織り体験など家畜として古くからわたし達の生活となじみの深い蚕を育てて絹織物を作る「命の学習」の出前です。		
81	弥生の染物体験(新規)	色に対する感性が豊かだったと思われる弥生人たちの生活文化の一つ、布の染織を行います。草木染めから、貝紫染めなど様々な染物体験の出前講座です。		
82	自然と古代を体感！むきばんだの楽しみ方	むきばんだ史跡公園では、里山の自然や遺跡の魅力、考古学の楽しさを身近に体感していただける、さまざまな学習活動を行うことができます。学校教育や生涯学習、自由研究のフィールドなどむきばんだの楽しみ方をご紹介します。	岡田	

鳥取県教育委員会事務局文化財課文化財係 宛 (ファクシミリ0857-26-8128)

文化財主事による「出前講演」申込書

■申込者(団体名)

申込者 (団体名)			担当者名		
連絡先	住所				
	電話番号		ファクシミリ		

■希望する出前講演及び開催日時・場所等

出前講演の番号			出前講演のテーマ (演題)		
開催日時及び会場	日時	平成	年	月	日
	会場	時 ~ 時			
その他					